

「テクノロジー」を「キッカケ」とし新しい空間や建築の状態を創造する。

テクノロジーとは人類が考え、生み出した全てのコトやモノを指す。

人類が生み出し続けている「テクノロジー」の中には、  
ずっと後になってから、あの時のあのことは、  
例えば今、話題になっている「こと」を、  
既に示していたのだと気付くことがある。

新しい芽が出現したとき、  
人は古い慣れ親しんだ枠組みで理解しようとして、  
結局、大切なことを見落としてしまう。

例えば「オイラーの公式」というものがある。  
この公式は 1948 年ころに導かれたようである。

この「人類の至宝」と呼ばれているものは、  
その後、20 世紀になってから、  
現代物理学に大変革をもたらした量子力学の基礎として、  
理論の中に現れた。

1 世紀も前の時点で、物理学の中に登場していたものなのである。

もしかすると、  
新たな可能性を秘めたモノというのは、  
すでにわれわれの傍らに転がっており、  
われわれ自身が注意深い眼差しを向けてくれるのを、  
待っているのかも知れない。

今回、そのようなモノを探し、  
そのテクノロジーをキッカケとし、  
新たな空間や建築の状態を創造してほしい。

設計とは「気付き」と「発見」の連続であり、  
それらをどのように設計と結び付けれるかが重要である。

この課題を通して、  
そのような感覚を体現して欲しい。

「敷地」

地球上のどこか(各自が自由に設定)

「用途」

自由

「提出物」

「提出用紙 A 1 (枚数は自由)」

提出用紙の中には最低、  
下記の図面を記すこと。

配置図

平面図

立面図

断面図

「模型」

縮尺は自由

(提案内容を他者に伝わるように表現すること)

その他、各自が表現や説明に必要なもの。